



第4回 多摩区区民会議

日 時：平成23年5月26日(木)
18時～20時
場 所：多摩区役所11階会議室

次 第

1 開 会

2 議 事

(1) 部会での審議状況と意見交換について

- ・「環境・観光部会」 報告者 戸高部会長
- ・「交通安全部会」 報告者 原田部会長
- ・「コミュニティ交流促進部会」 報告者 大津部会長

(2) 区民会議フォーラムの検討について 報告者 事務局

3 その他

- ・今後のスケジュールについて（次回日程について）

4 閉 会

- 資料1-1 環境・観光部会の審議について
- 資料1-2 エコちゃんず（川崎市地球温暖化防止活動推進センターだより）
- 資料1-3 川崎市地球温暖化防止活動推進員募集要項（募集は終了）
- 資料1-4 多摩区観光ボランティアガイド育成セミナー
- 資料1-5 （仮称）藤子・F・不二雄ミュージアムオープン多摩区イベントについて
- 資料2-1 交通安全部会の審議について
- 資料2-2 各区交通安全の取組
- 資料2-3 他区の交通安全教室以外の取組
- 資料2-4 多摩区役所が実施した自転車交通安全教室
- 資料3-1 コミュニティ交流促進部会の審議について
- 資料3-2 世代間の交流ができるコミュニティセンターをつくろう
- 資料3-3 地域共生のいえづくり支援事業
- 資料4 区民会議フォーラムの検討について
- 資料5 今後のスケジュールについて
- その他資料
 - 資料 藤子・F・不二雄ミュージアムへの市バス路線の開設について
 - 資料 多摩区コミュニティ施設MAP

環境・観光部会の審議について

前回の区民会議までの検討状況

環境

課題解決の手段

- 区民への啓発（広報、勉強会）
- 家庭での取り組みの推進
- 人材の育成
- 市民活動団体のネットワーク化
- フォーラム、イベント、講座

観光推進

課題解決の手段

- 大学と地域の連携、交流の場作り
- ボランティアガイド等の体制作り
- PRのためのツール作成（写真、ご当地ソング）
- フォーラム、イベント、講座

現在の部会での審議・調査状況について

環境

フィールドワークについて

○部会にてフィールドワークとして、川崎市で温暖化防止の活動を行っている、川崎市地球温暖化防止活動推進センター（以下センター）を訪問しました。（資料1-2）

センターにて確認したこと

- ・今年度の夏に向けて節電に力を入れていきたい。
- ・川崎市地球温暖化防止活動推進委員（資料1-3）が多摩区に8名いること。
- ・センターとしては、推進員や、地域で活動している団体、個人、また行政と協力して温暖化防止の活動を行っていききたいと考えている。



センターにて
打ち合わせ

観光推進

地域を盛り上げていく人材について

1 ボランティアガイドについて
○部会として今まで審議している人材の育成の審議を受けて、区役所として新しく実施した「多摩区観光ボランティアガイド育成セミナー」（資料1-4）について説明がありました。

部会として人材育成の方法と人材活用の方法について審議を行いました。

2 大学と地域の連携について

○前回の区民会議にて、大学と地域が連携して行く審議がありましたので、7月23日に区役所にて実施する「（仮称）「藤子・F・不二雄ミュージアム」オープン多摩区イベント」（資料1-5）について説明がありました。

現在は、町内会、商店街、市民団体とともに、大学生40名程度が協力してプレイベントの実施に向けて一緒に実施しています。

これからの審議について

○節電啓発と意識調査について

センターの活動に協力して、何らかの節電の啓発を行っていきながら、その機会に部会としてCO2削減等についてアンケートを取って、多摩区の状況の把握していく。

○人材育成について

「多摩区観光ボランティアガイド育成セミナー」などの事例をみながら、地域を盛り上げていく人材の育成と、育成後の活躍の場について、審議を進めていく。

部会の目的

（部会のテーマ）環境と観光推進をテーマとして、多摩区の活性化と良いところのアピールを推進し、次世代（こども）へと繋げていく

（部会の目的）多摩区の過去を振り返り、これから未来へと繋げていくために、特に環境と観光などの面から何が必要か審議・調査を行う。また、区制40周年という節目を迎えることから、きっかけとして活用していく。

分野ごとの目的と方向性

環境

目的

- 次世代へと繋げていく取り組みの推進
- 区民の参加と協働の促進

○身近なエコに取り組む多摩区を目指して、「家庭からのCO2の削減」を行っていくには、何が必要か。これからの世代へより良い環境を引き継いでいくため調査・審議を行う。

今後の方向性

○区民一人一人が身近な生活の中でできる「家庭からのCO2の削減」に取り組んでいく仕組みを調査・審議して行く。

- こういった取り組みをより推進していくために、40周年をきっかけとした参加と協働の取り組みを検討する。

観光推進

目的

○従来から、多摩区の地域資源を活用して観光推進に取り組んできた。これからの世代へ多摩区の魅力を引き継ぎ、郷土愛や歴史の継承を地域で行っていくために必要なことが何か調査・審議を行う。

今後の方向性

○次の世代に繋げていくために、地域での取り組みを行うことができる担い手の発掘や、人材の育成について調査・審議して行く。